

2 「安全・安心の取り組み」について

問3. あなたの安全・安心の取り組みについて、該当するものを選んでください。

(あてはまるものすべてに○)

取り組みの内容	現在 取り組んで いる	今後 取り組みた い
(A) 自宅での事故やけがの防止活動（段差の解消、家具等の衝突防止等）	1	2
(B) 交通安全活動（反射材の着用、自転車乗車の際はヘルメット着用、ながら運転はしない等）	1	2
(C) 児童虐待防止活動（虐待かと思ったら189へ電話、育児に悩んだら相談する、気になる子どもや困っている親に声をかける等）	1	2
(D) 地域の子育て活動（登下校の見守り、こども110番の家等）	1	2
(E) 高齢者の安全・安心のための活動（転倒予防、高齢者の見守り、転ばない体づくり等）	1	2
(F) 防犯活動（自転車はツーロック、ながらパトロール等）	1	2
(G) DV防止活動（DVかと思ったら相談する等）	1	2
(H) 自殺予防活動（悩みや不安はひとりで抱え込まない、身近な人の変化に気づいて声をかける等）	1	2
(I) 防災活動（家具の転倒防止、食料などの備蓄、避難場所・避難経路の確認等）	1	2
(J) 現在、上記のどれにも取り組んでいない【該当する方は→1に○】	1	—
(K) 今後、上記のどれにも取り組みたいとは思わない【該当する方は→1に○】	1	—

3 「交通安全」について

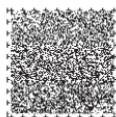
問4. あなたは、夜間外出するとき、反射材（反射バンドや反射タスキなど）を身に付けていますか。（○はひとつ）

1. 必ず身に付けている	2. ときどき身に付けている
3. ほとんど身に付けていない	4. 全く身に付けていない

問4で、「3」又は「4」と回答された方にお聞きします。それ以外の方は、問5（9ページ）へお進みください。

問4-1. あなたが反射材を身に付けていない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | | |
|-------------------------------|---------------|---------|
| 1. 持っていない | 2. 身に付けるのを忘れる | 3. 格好悪い |
| 4. 効果がないと思う | 5. 知らなかった | |
| 6. 明るい色の服や反射材付きの服や靴などを身に付けている | | |
| 7. その他（ | | ） |



問5. あなたは、どのような状態になったら、運転免許証を返納したほうがいい（免許更新しないことを含む）と思いますか。（あなたの考えにもっとも近いものひとつに○）

1. (70歳以上や80歳などの) ある程度の年齢に達したとき
2. 家族や身近な人から運転を控えるように勧められたとき
3. 身体能力や判断力の低下など運転に不安を感じたとき
4. 交通違反や交通事故を起こしたとき
5. 生活が不便になるので、できれば運転を続けたい
6. 運転免許証の返納について考えたことはない

4 「児童虐待防止」について

問6. 下の表のような行為が児童虐待にあたります。あなたは、これまで児童虐待を見たり聞いたりしたことがありますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 身近であったのを見た又は聞いたことがある
2. 相談されたことがある
3. テレビや新聞等のメディアで知っている
4. 全くない
5. わからない

身体的虐待	殴る、蹴る、叩く、投げ落とす、激しく揺さぶる、やけどを負わせる、溺れさせる、首を絞める、縄などにより一室に拘束する など
性的虐待	子どもへの性的行為、性的行為を見せる、性器を触る又は触らせる、ポルノグラフィの被写体にする など
ネグレクト	家に閉じ込める、食事を与えない、ひどく不潔にする、自動車の中に放置する、重い病気になっても病院に連れて行かない など
心理的虐待	言葉による脅し、無視、きょうだい間での差別的扱い、子どもの目の前で家族に対して暴力をふるう（DV）、きょうだいに虐待行為を行う など

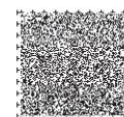
問7. あなたは、現在18歳未満の子どもの子育てに関わっていますか。（○はひとつ）

1. よく関わっている
2. ときどき関わっている
3. ほとんど関わっていない
4. 全く関わっていない
5. わからない

問7で、「1」～「3」のいずれかに回答された方にお聞きします。それ以外の方は問8（10ページ）へお進みください。

問7-1. あなたは、子育てに困難を感じることがありますか。（○はひとつ）

1. よくある
2. ときどきある
3. ほとんどない
4. 全くない



問 7-2. あなたは、子育てに関して、相談できる人はいますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|----------------------|-----------------|----------|
| 1. 同居中の家族 | 2. 他に住んでいる親族 | 3. 友人や知人 |
| 4. 民生委員や主任児童委員 | 5. NPOなど民間の相談機関 | |
| 6. 市家庭子ども相談課など市の相談窓口 | 7. 県や国の相談機関 | |
| 8. その他 () | 9. 相談できる人はいない | |

問 7-3. あなたは、これまで自分が問 6 (9 ページ) の表にあてはまるような児童虐待をしているのではないかと思うことがありましたか。(○はひとつ)

- | | | |
|-----------|------------|-------------|
| 1. よくあった | 2. ときどきあった | 3. ほとんどなかった |
| 4. 全くなかった | 5. わからない | |

問 8. 児童虐待を防ぐためには、どれが有効であると思いますか。(あてはまるもの3つまで○)

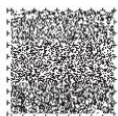
- | |
|----------------------------------|
| 1. 児童相談所や市の相談窓口を充実させる |
| 2. 地域で支え合うため、住民同士の関わりを深める取り組みを行う |
| 3. 「児童虐待の疑いがあれば通報する」という意識を持つ |
| 4. 保育園、学校、医療機関等による早期発見を徹底する |
| 5. 子育て世帯への養育や家事手伝い等の支援を充実させる |
| 6. 小・中学校で子どもの権利や命の大切さを学ぶ機会を作る |
| 7. その他 () |
| 8. 特にない・わからない |

5 「高齢者の安全」について

問 9. 久留米市では、高齢者の転倒予防に取り組んでいます。あなたは、久留米市で作成した「転倒予防パンフレット」を知っていますか。(○はひとつ)

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

* 「転倒予防パンフレット」とは、自宅内での転倒危険箇所や転倒事例、転倒予防体操などをまとめたもの。民生委員や地域包括支援センターなどを通じて高齢者に配布しています。また、市役所や校区コミュニティセンターなどに設置しています。



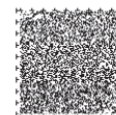
問 10. 久留米市では、寒い時期に脱衣所から熱い湯船に入ることによって脳出血や脳梗塞、心筋梗塞等を起こしてしまう「ヒートショック」の予防啓発に取り組んでいます。あなたは、寒い時期に「ヒートショック」の対策をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. お風呂のお湯の温度を 41℃以下にする 2. 寒い時期は脱衣所や浴室を暖めている 3. お風呂に入る前に家族に声をかけている 4. お風呂から出るときは、ゆっくり立ち上がっている 5. お風呂はのぼせる前にあがっている 6. 体調が悪い時や飲酒后、食事直後はお風呂に入らない 7. その他 () 8. 特にしていない |
|---|

問 11. 下の表のような行為が高齢者虐待にあたります。あなたは、これまで高齢者虐待を見たり聞いたりしたことがありますか。(○はひとつ)

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 身近であったのを見た又は聞いたことがある 2. テレビや新聞等のメディアで知っている 3. 全くない 4. わからない |
|---|

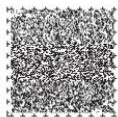
身体的虐待	つねる、たたく、殴る、蹴るなどの暴力行為を加える など
介護・世話の放棄・放任	食事や衣服を与えない、長時間放置する など
心理的虐待	本人の意思や人格などをなじるような暴言を浴びせる、高齢者が話しかけてきても無視する など
性的虐待	本人の合意なしに性的行為をする など
経済的虐待	年金や預貯金等を取り上げ、本人の意思・利益に反して勝手に使う など



問 11 (11 ページ) で、「1」と回答された方にお聞きします。それ以外の方は問 12 (13 ページ) へお進みください。

問 11-1. あなたは、高齢者虐待を身近で見たり聞いたりしたとき、相談又は通報しましたか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 市役所や地域包括支援センターなどに相談（通報）した
2. ケアマネージャーや民生委員、介護事業所などに相談した
3. 医療機関に相談した
4. 警察に相談（通報）した
5. 親族に相談した
6. 友人や知人に相談した
7. どこに相談・通報したらいいかわからないので、していない
8. 虐待者からの逆恨みが怖いから、相談・通報していない
9. 他人の生活は自分には無関係で、関わりたくないから、相談・通報していない
10. 間違っていたら、迷惑をかけるから、相談・通報していない
11. 特に理由はないが、相談・通報していない
12. その他 ()



6 「DV 防止」について

問 12. 配偶者（事実婚や別居中を含む）や交際相手の間で行われる下の表のような行為がDV（ドメスティック・バイオレンス）にあたります。あなたは、この5年間にDVを受けた又はその被害について見たり聞いたりしたことがありますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 受けたことがある
2. 身近であったのを見た又は聞いたことがある
3. 相談されたことがある
4. テレビや新聞等のメディアで知っている
5. 全くない
6. わからない

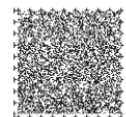
身体的暴力	素手或いは物を使って叩く・殴る、首を絞める、相手に向かって物を投げつける など
精神的暴力	思い通りにならないと壁や家具を殴り壊すなどして暴れる、何を言っても無視する、大声で怒鳴る、「誰のおかげで生活できているんだ」などと言う、意見を言うと怒る、馬鹿にしたり人格を否定するような言い方をする など
経済的暴力	生活費など必要なお金を渡さない、生活費を必要以上に細かくチェックするなど
社会的暴力	身内や友達との付き合いや外出を制限する、携帯電話やメール等通信履歴をチェックする など
性的暴力	性的な行為を強要する、相手が嫌がっているのにアダルトビデオやポルノ雑誌を見せる、避妊に協力しない、裸の写真や性的な画像を撮る など
子どもを利用した暴力	子どもへの虐待を強要する、子どもの目の前で暴力をふるったり、暴言をはいたりする など

問 13. あなたは、DVについて次のことを知っていますか。（あてはまるものすべてに○）

1. DVがおこる背景には、「男は仕事、女は家庭」という固定的性別役割分担意識がある
2. DVは夫婦間だけではなく、恋人同士の間でおこる「デートDV」がある
3. 女性の約3割、男性の約2割は、配偶者から何らかの暴力を受けたことがある
4. 警察が把握するDV被害者の、約8割は女性である

問 14. あなたは、この5年間に自分がDVをしているのではないかと思うことがありましたか。（○はひとつ）

1. よくあった
2. ときどきあった
3. ほとんどなかった
4. 全くなかった
5. わからない



問 14 (13 ページ) で、「1」又は「2」と回答された方にお聞きします。それ以外の方は、問 15 へお進みください。

問 14-1. あなたは、その行為についてどう思っていますか。(○はひとつ)

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 何とも思わない | 2. 相手が悪いから、仕方ないと思う |
| 3. 悪いことだと思うがしてしまう | 4. 悪いことだと思ったのでやめた |
| 5. わからない | 6. その他 () |

問 15. あなたは、久留米市で行っているDV防止啓発活動のうち、次のものを知っていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. DV防止カード | 2. パープルリボン |
| 3. オレンジ&パープルツリー | 4. パープルリボンキャンペーン |
| 5. 講座 | 6. その他 () |
| 7. 知らない | |

問 15 で、「1」～「6」と回答された方にお聞きします。それ以外の方は問 16 へお進みください。

問 15-1. それは何で知りましたか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|-----------------------|
| 1. 広報久留米 |
| 2. 久留米市ホームページ |
| 3. 男女平等推進センターの広報誌やチラシ |
| 4. えるピア久留米内のポスター |
| 5. くるめフォーラム |
| 6. パープルリボンキャンペーン |
| 7. その他 () |

問 16. あなたは、DV防止や早期発見のために、何が有効だと思いますか。

(あてはまるもの3つまで○)

- | |
|---|
| 1. DVは相手への支配を目的とした行為であり、人権侵害であることの広報周知を強化する |
| 2. 警察の取り締まり(刑罰も含む)を強化する |
| 3. DV被害者相談窓口や支援メニューなどの広報周知を強化する |
| 4. 子どものころから男女平等に関する教育を行う |
| 5. 被害者が声を出しやすいシステムを確立する |
| 6. 市、警察や裁判所などが介入し易い環境を整備する |
| 7. 相談窓口や相談員などの数を増やす |
| 8. 医療関係者や子ども関係の職務関係者のDVへの理解を深める |
| 9. その他 () |

